てをり、附者の登明を矛盾して をう、たは十一月二十七日の湖 が高別としても経過間型が海洲図 に影響あるに至るときは適常な であつて、女田先門部にもなった。 海洲図に置し今後かゝることの。 無言やう弊告を厳しては如何 無言やう弊告を厳しては如何 が意覚とをる一言の響明を矛盾との。 のかまについてはある一部のもの 無言やう弊告を厳しては如何 が意覚見を移送するとは、 の響のことで後来よりこの方針については難見はない。 を引きる一部のもの にであった。 の方針については難見はない。 を引きる一部のもの にがある。 にがある。 にがある。 の方針については難見はない。 を引きる一部のもの にがある。 にがないる。 にがない。 にがないる。 にがないる。 にがないる。 にがないる。 にがないない。 にがないる。 にがないる。 にがない。 にがない。 にがないる。 にがないる。 にがないる。 にがない。 にがない。 にがない。 にがない。

東京電話」十六日の世族院豫算

同題であるから今回にどの紛糾「永田肖方約五十末の消費士を乗過「武抗艦した」とである。これだけの大きな「北で都撃中の数分海日本印蔵は戦」はヘルピン總額事を通じ直らに破したである。これだけの大きな「北谷東戦艦南方路安計的近を自動」は無準蔵察を終へた、南側回政府日に添ふことに努めるといふこ「江谷東戦艦南方路安計的近を自動」は無準蔵察を終へた、南側回政府日に添ふことに努めるといふこ「江谷東戦艦南方路安計的近を自動」は無準蔵察を終へた、南側回政府

【新京十五日安井特派员政】十

**総爾は自動車和方三米の地獄に落** かに我が一行を目標としたもので 小銃の射撃を受けた、有射撃は明

を見た事も止むを得ないと思う | 中突如縁飛一〇一號ドーチカより

けふ今井電氣課長は語る

綏遠事件に就て軍と外務省の

**聲明に矛盾なり** 

貢院豫算總會(十六日

# **畔合同電氣の本祉は** 的に京城に設

會長は香椎氏、社長は小倉氏 南野大選の電網を行つて一起とする年齢に完成性に表した、本地は 「関連などの上されたが、午前二時中山田豊富別長、今井市電源を設立した。 大道の観聴を探めて観行されたが、午前二時中山田豊富別長、今井市電源を返出と共にサッと受問の 身は関かれた、同十一時歌信島に於て歴り抑む委成長は今井市電源を返出と共にサッと受問の 身は関かれた、同十一時歌信島に於て歴り抑む委成長は今井市電源を返出と共にサッと受問の 身は関かれた。同十一時歌信島に於て歴り抑む委成長は今井市電源を返出と共にサッと受問の 事は関かれた。同十一時歌信島に於て歴り抑む委成長は今井市国歌語の方郎の下に決定事項を認美し た、本社は暫定的に京城に置く(京真岩は香港氏、左は小倉氏)

然れども目下の情勢に開し合 日は増脱級上程のため特に本質職的十一時各級英淑麗を開き、十七 十七日衆院本會議

# 體成案を得

ノ陸制縦に騙するイタリー政府の【ロンドン十五月問題】新にカル

に對し伊が回答

設置に就いては、昨秋開催された 強化漿大せんとする金融調査質の

明年度本府特別會計

出追加豫算

本府から發表さる

|歌の作園に努めてあるが大陸の底| たものでその開催の時知は本年大 | よしては押し切る模様である底室経過制を輸送本所に於て其難 | 舒認監を差成長とし内容の充實し | の蛯色あるものと見られるが 長せしめるため現在の経済機構を「委員の「顕明れば「半島収別の「正面」 査管の結果によつては金融管領ម産業の確認に伴ひ著楽釜々助 「家を得て、人選に着手してゐるが、再領と見られてゐる。 尚に食 成界の徹底井保名を以て組織し政を初め本所側部に大部省、内地側 在財界の一部には領棋戦立に相話戦立となるものと見られるが、現



源兵少佐) 同上

と云つて次の服野を配価せれ

金器する機能感があり、医林局長

野に於て主管局遇に於て善盛方

他数項に亘つて指示し、知事的

| 一部職 | 窓行者屋画 |

単常自から東京に於ける法律、総合等に離する朝鮮関係のもの人が

国に附近するに決定日前合鮮の特色の資本金一千五百萬間を五千萬

前十時四十五分遊

送り金属第一の好波器を示し年幼年職役に十二名の新人生

天地玄黄

面して右五 千萬 国のうち三千萬

大八英国) 一五〇 窓の國際競評出席・八百福油と 大手整型の結果英助あるや、大夫銀はいよく「軍衛融・20年 無水香料開係競技化 九 鉱とはじめ敷新聞はルーズジェル 無水香料開係競技化 九 鉱とはじめ敷新聞はルーズジェル ま水香料の指果英助あるや、大歩銀はいよく「軍衛融」の通

て立つてゐた。而藏は極あひから 倒れた。作者が彼から初を打ちお 一方が稻を植ゑたばかりの水田に 『盗人が逃げやがつた、盗人が』の道には夢の範を 村の者に取り図まれては高事体 一方が民家の生垣で茶の の音が聞えてゐたが、やがて道のか歌ふ野がして、それに交つて給

長ををやつてゐるが先代源太郎 代鏡きの中型校長だが、躍用の 大将も模長をしたとからり、二

ン博士は十五日午後ベルギー外荷

【プラリセル十五日同監】プラッ

増税修正案に對する 大藏省の態度

獨大使ベルギー

省を訪問、新ロカハノ陸軸衆に對

安協護步に依り解決

たつき一切地限を記述へてゐる

今回の回答は『國際情勢に同

向であるが、厥鷲の部向は極めてて正式に政府の態度を表明する恐 は十六日兩黨悪談館の結果を挟つ **南麓の修正意見に對し、大部省で** 【東京電話】 均配製に對する政民

のた男の爺の音が に作った。 活作 にので安心した。 に作った。 活作

の規定に延ぎ、主力艦の備砲口徑(ばならぬことになり、ここにロン

聞を三萬五干トン以上に増大せわ ギン商品直則を彷彿させる大照威

カ城 府は十三 日来る 五月四日か

デヴィス氏が出席

然に第三種所得の配覧識別、答楽

時半から本府第三館融部に於て即

ントキウッラ豆」に関する説がな

心として農薬、水産試験、果樹のよいて南鮮農寮に続いて

自國的國政府で指面中であるが以 開土官學校長に榮轉した孫



器的講習會器師として十五次公氏(京城市防暑長)慶和

かりしておくえ

類が注いたのか もやないかわい わあがった。

集を招くことは反對である。果赤字小假を掲載するが知る は側面のたしなみはあるが、。 『上し、來た、合監だ、」 金七は蹴を掘りかぶつた。

がみるといふちゃねえかよ

言んか、強人

膨をつけた。

てるた。劉太は知りあひの祖蔵にあった。二人はそれんへ彫を掛つ

田林吉満北中乾

声音 笠

画帖

勢郎

畫作

(6)

四月特輯號

日が来ました。

養もお馬の養も見えなかつた。龍麓は後をちらと見た。作次の

『盗人は、庄屋さんだ、」

國同態度決定 たっその機に使からまた二三枚 加酸は際の概を金七の削へやつ

民南流修正然見として際へられる 「協士管を開き増配数に對する政 得の柄にかもりと的つた。龍篋は 金七は跳を打ちおろした。跳は

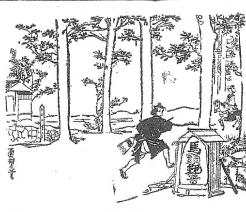
ねけて走った。走って村の本個近

小物を窃られた、それや大壁だっ

F

高られたの

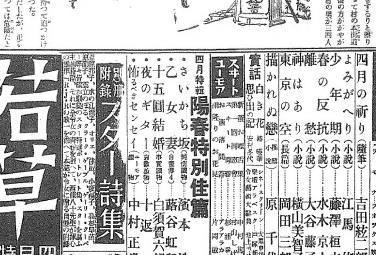
村の男が三四人後の方がかやが





機常

一郎兒浩





つた



作創

それに交つて節

の題が 見えて来

があった。

銭五十四篇 』 誌雜春青つ立に頭先の化文き若 

人であるか判し

現代少年立志風景

拠信局の普通科通信生の募集に

二千名(十四倍)の志願者

る十日順時の受付を締切った。 題目局で募集する趣信史政務

遊びなしといる語が人質を呼

も多数の影響者を見る複談で來る世五日締切るがこの方 程第一部通信生はまだ塚県中

機者二千百名にのほり越国局 中には手旨を結果し試験に間を露かしてゐる、これは監撃

んだのでもあらう、なは影通

家社女と難してゐる沈夏淑さん(で、徐々不能はつのり十五日夜同

こを参与人として遠行取調べた結

内直中同家には盗女といふ名義の 戦を開込んだ果大門暑刑事隊では

悲鳴がされるとの感な しれは低しいぞ々と取日町から

もとに十数名の女か遅いてゐるの

た、目下軍闘兵隊から防衛マスク

別者相密ありその内一名は死亡し見られる、数世者中にも置

作業部偏中である、右脳単の

消防夫が遺難した持越鑛山附近の略圖

を借り入れ決死隊を組織して数出

三十尺の谷底に駆逐したが容平、陰風に懸けれタルダアン路的近に及ひ、最和四輪脱戰、中二輛は百一端アルクラ源一份は十日来流派な

部から選早く悪風緊緊を接受し会 即行方不明となったがその後瞻報 によればこれら採貝数はアルー部

別のに 政策無事と云はれる 地方でリヴァーブル川その他別江

原智惠子嬢へ

要しその命に書くと真赤に数えてある境火割で懸退後まるリンチを加へてこれを強敵し者明に機び地方の娘女子を攻に襲び込み殺女の名章で自宅に引取つては春ならぬ春を漫

遵何の果ては資訊はして十散名の乙女達の雑憶を触んでゐた肥齢の知言不能成か十六日

「ワルシャワ十五日同盟」第三同

朝果大門署建に撤撃された

あり何れも生命 『望と を動行中観路内に甲坪山の岩石か四十一名はなほ坑内に 照川行列車が頭那本観視関的吉岡

十五日午後七時卅五分ごろ前川郡|列車を急旋し十六日正午開通した

満浦線の列車椿寧

幸ひ死傷者はない

京城南大門通二の九成戦金山霞郡(前十歴東本廟寺大師第二於て約三八百囲)と現金百卅五囲を護へて「三名は去る十二月入洛、十六日午

落下してゐるのに聚り上げ機能心を逃行中線路内に甲坪位の皆石か

【シュニー十五日韓周四】 路岸北

採貝船は無事

純情の乙女を釣り

・數名の生血を吸ふ

言付け背けば殘酷なリンチ

大畑氏が歴紀、直もに事務所に報

密閉 したがその後附五十 上海防険 でもつて抗日本

石石に乗上げ

7個所に大災の5のを同所連携手

で題に百名の数援院を派遣したが 色質的失か。抗国に人り消火に努め

を脚じつつあつたが十六日午町十 内れもガスに當てられ童態に陥つ 行がガスのため帰倒者既出したの 越野遊所大學が山南方四千三百尺世野市林越、中外職業代之前「線

た為め部用作梁を尋さ十大日午た兵時間に行り風間作梁を行ったが同様に決していたが同様に要を行ったが同様に対していたが同様に対していたが同様に対していたが同様に対していたが同様に対していた。

焼に投臭した

金山會計係

ーロッパ代表以外の優秀ピヤニス 機関状を放果した、ボーランド政 出る十三日盛館担に終了教館した

トに對するボーランド特別資を配

近は配頭の技術協別なるを認める

が十五日日本代表院智思子響に名

爾陀教主以下

**町十一時二十分頃離尚帰山方郡上** 

**特は局郊雅市によれば十五日午** 

車上り内置 的研問縣山

によれば大きなのが見ら

省職保局には何等の報告がないが 原因については米だ内が

変行ったがその時所に内殻生した一般では、 ・ では、 ・ では、

贈が内の火事

消防夫四十一名の

生命経望視さる

### 怪電波への備 京城の五十キロ放送完成で 鐵壁の陣立て成る

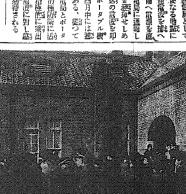
信局と附近な連絡をとつて供雇中であが、この解説を以てすれば北郎団境の空を突破して宇島は初紀内地主で荒さらとする赤路の信局と附近な連絡をとつて供雇中であが、この解説を以てすれば北郎団境の空を突破して宇島は知道内地主で荒さらとする赤路の信息と呼ばれる神のだり五十十年が決定局を完成した方域中央が表現している。 **使散波は完全に消滅することになり認信局では繁衍局との間に五十キロ放送の径放送に對する無機的防衛について打合せを進めて** 

にある方向深知機を活用して住政。も通報してゐるのを題に選ばにす。繁彩部で方向深知機を設置してゐ「てゐるのは方向張知機の運搬に便一はしばいく聽銘の自地に落つく由「五日及解析三丁自識配成群に潜伏局態に京規無重制と各地は無流局」した場合は各無質局は勿能力地と「で、内地では地理的重要折解には「を考慮せしめるはずで且下記論し「躁趣へゐかつきゃで求工、その後、姿を続まし、各実で行方漢字中十合ちに消費房神としては鬼在感情「送の意思を求め、もしこれを確認」るやう監験局とも連絡をとるはず「るのに重み本所に對しても本地は「同して十六日午後四時十五分京液」

総督夫人諸久子さんは牧野節を帶

南總督夫人東上

五十キロ放送の飲力を延伸せしめちに本島乃至は各無電局に通報し 野陣を完成するとと期待される 動し五十十二放送が積極的に乗用 方向保地機器付け無電局とボーロ ブルが連絡をとつて消極防衛に 目局に非若する話である、従って の際人は約五千回で四月中には認 きつぶす記載でありボータブル機 てたちどころに怪敗迄の范波を叩 のに国能な場合に備へ能源を 半島の公で住屋皮を捕



登龍門をねらふ 官立專門校の入試 一齊に蓋をあける

三月十六日

本城料理

番合

此段議告化候也 春の公休日

し候に付 組

ム者重義通の血が駅では十十 とはいよものと影響が中の歌龍門を組、道がにより試験がウンと聞いるのと高等が中の歌龍門を組、道がにより試験がウンと聞いるに一大飛躍の影解を動きん す謝無数りで、今年は本府の の競響者を押引つて人生コーであるが何れも五倍以上を示疑へ闘いた剣を減す目・敷多、五・八倍、繋科五・六倍の順 在紫門の高頭、高山、野學、法 い、この質野を知到つて目出大日は城大連科を始めが内宮 憲はせるのは即と贈りツこな

主墓

集徒

京城實踐簿記

から列べて見ると法数が七・ 施行される日だ、藤野草の間 群、高麗の入學試験が一層に 度くコールインする光楽見は 始まつた(弘漢は関を置らす

能々ぞ?就蔵は午町九時から

李集 認可 東文中 埃

屬病 真 信 院

Q Q

優秀治洪

90

会于

心館十九盛を放れ 王多成門 被中村果教所

### 貯金通帳を改竄 質屋から借り出す

倍、温商が五・九倍、高工が 三倍でトップ、図幕が六・三 受験者能)

八十五錢の元手で四十圓騙取

忠 老 子 隋

健の

(地 沢) 東南直線的時日常リ皮ク水池以外開発 (大 九 場所) 英金町六十日(日 版日)田中 ( 1 版日)田田 ( 1 版日)田 ( 1 版日)田田 ( 1 版日)

好 絕 夏 優 () 地交位

置)東四軒町電車や留数東三丁約一萬年ノ内置)東四軒町電車や留数車では歩約三分自動車通)東四軒町電車ので留数車であた約三分自動車通)東四軒町電車のでは乗りたった地域のであった。

まし変を膨まし、前引方面へ高飛し一自白した

た形跡があるので各方面に手配中

集金持逃げ

府内で捕まる

のまし即記収金と脅金を指帯した

に納入すべく成数を出越したがそ

押へた戯は石首六十四の外各所で 三百圓位の能収を働いてゐた事も してゐるのを果大門署域が種原取

る一月三日現金百六十國を持つて「た、後罪ある見込みで取割べ中、足方服人住所不定認続後できば去、に着破られて本町を禁じていたが野食深見現水平通「ノ三〇五佐々木佐谷」で日鑑を促進し黄金町四丁自規復 得度を受く

京都東本願寺の擧式 ケ月の九州瀬戸を終へて向古明辞 出した光朝は主より根度を受けた 一定の預酬は九十四線の高齢で保度 一定の預酬は九十四線の高齢で保度

「私は元弱齢の東楽故に高低してあました。 その間側して一時に信使生鬼人に もよりました。それから後細陀 を短鞘しょしたが様に提ぶの をと取鞘しょしたが様に提ぶの 大架的数義を切りり繋ぶとして石 かと取鞘しました。

取したが河底事符政を開館できる。から作業には何等の支援も来たさ、四(十六日)中的水路地下水脈に駆か資金町市の銀硬所に行。 から作業には何等の支援も来たさ、四(十六日)中的水路地下水脈に駆か資金の大路 つて四十二国十銭の経洲開出を要 かした所則血敗國を即使所員が越 ん一つで一瞬にして戦争性し、し の歌力を活用するわけであるので、これは不夜城の様火をぎた するはずで完成の上に装甲能道

盆濟寮の怪盗

前を清算しようとした女ー ◆概要のほか各種校の卒業式は

生活苦の四十女 (靆)

三銭で命を清算

(新興映造化)

醬

部

# 2

東宅東路本園在宅地北分襲地 (支拂方法) 於照頭蓋分、突飛衛頭金 | 別奏金四月

一般の炊事大鵬谷文前(こ)の所以と 道局第三統済系の田村極君の形品 のがあつたのを他山著で想査中間 から廿五間入りの財産を踏んたも 十三日午前二時ごろ京城変に通数

計金機(領失) 京城県山 「一下イヤ企業下げに行ったが対金統」・「民職後の可引の高春主電話に 「一下イヤ企業では、「大田」で に十三日再ひ同様手段で廿回を菲へ入質し廿回を確取したのを手初め

機町二つ八飲に監視力で飲酒中の 兩名を雖なく連加した 理、本町書で記人理事十五日舟

犯人は炊事夫

の流ないが、 最大島町四五手祭化(w)は生荷 十四日午町八時財布 日午後二時▲南大門、翻路、日午後一時▲智成專門學校 京城男子的郭小學校十七日午 小學校廿二日午前十時▲日田上後一時《歷九、西大門、南山を日午前十時▲元町小學校同日年 十時本順仁暨選舉授及幼稚園

忠康北 の風 南乃岩西 學校問日午後一時小學校廿二日午前出 天氣豫報行出 閣(の風 慰つたり北) 南乃至西 聞れたり 南(の関 無のたり 北 の風 愚つたり間 北乃芸西 晴れたり

疊

た。どつちにしよう。

関中を職人に難起され府政府院で買ひ来の職下したか死に関れず苦 会と情じ 

の風 望つたり 疊

| 毎||時期(明日)南西の風盛時を関 京城地方 (今晚) 墨

> 流行歌

艾魚

2

ひ、養女になれば良多(強人りさ)を完成した難道局では今後から題「魔子国際であるが同時に重し続い、自地方に昨天の服装を続いて演習した。 一年の他軍馬島路地の防空島路(魔具上事るやう列車に特別製造を ことしなつた。軍型脈の中低に雷果、李は数と月前から春期に織む。空殿に覆へた線道場、覆梁、トン に産戦する列車に特別製造を ほんさいなつた。軍型脈の中低に雷果、李は数と月前から春期に織む 列車にも防空装置 全鮮主要驛の燈管設備も 理想的に擴充する

稀代の人鬼檢學さる 相紅多数に達してゐる機様である

倫準は自分の営付けに得く女には 度のやうなリンチを加へてあた事 る蝦引した、石泥女の左手首にも

授與式は來る十九日午後三時京第三回閉鮮中部清酒品辟會議以

り北部も英國は豊ですが設備は朝と曇か学々です。北朝郡及留支り北部も英國は豊か・田文は小学の所がありますが新鮮は中部以際に終ります。 み地に来だ 気軽は田衆半島 一宗在海峽、札幌的近時にあります。 み地に来た 気軽は田衆半島 一宗在海峽、札幌的近時にあります。 み地に来なる

☆蒸長☆☆☆小林叉七朝鮮・朝鮮地圖販賣元は、型 **昭和十一年七月一日現在職信柜圖** 進星)

÷地 ≦圖 新部

第室的· 水炭と時間の街 対三帝店 獅羊減 動入へ等川井田瀬次郎懐豫前病氣 死去致候間此段道告仕候也 死去致候間此段道告仕候也 現代の一般を選手は成功 を明れる日本のでは、近年の一般では、近年の一般では、近年の一般である。 で明れる日本のである。 で明れる日本のである。 は、近年のでは、近年のでは、近年のでは、近年の一般である。 は、日本のでは、近年のでは、近年のでは、近年の一般である。 三月十六日 親 戚 機 代 兄 妻 京城府西塘町一丁目五八 山二近川兒篠兒 井 下宮藤田玉原玉 丑: 藤 久秀 』 之 ¥ ・脩ノ彌一助子

た無秀優 (温度) 壁完構 
成本











交通統制で自動車道營論まで飛び出す

日目の慶南道會

戦したまく否として消息が無いの水より巨交島方面へ向け釜山を出

加上で選組したのではないかと

十五明による十一日午町九時館

所有の鮮魚連般樹第十八久幸丸 

清州高女校

深男、林祖云(受験符號度)

劈頭から熱の質問戦

に民つた

鮮魚運搬船

のでは、大部分は実際につぐ を通付民の大部分は実際につぐ を対し、大部分は実際につぐ を対し、大部分に実際に対する対象の方式に 対式根本技を定用とする有様に と交換製造に對する対象の方式に のてるれたい、文質製造の施設 倒てるれたい、文質製造の施設

「「清州」本町五丁月至側資(で)」

阿片を密輸

の後近立大郎降流で手盆中であつ 解者した の対象に左戚を失明、十五日記院

| 職人したらしく引置き取調べ中

してゐた、同人は解説から巧に密

一年度世界宗の第一題所に入り、

と野村間型の全版に建つて質問し、野神の学は無事だった。 現代の またに建つて質問し、野神の学は無事だった

を破扱したが迎よくこの無いい間

名へ製造方を顧出たので沿域各地 安否を領遣ひ十五日船主より水上

問題に関れて質問、これに對し 重要計画の中小河川の地

政権時して富るべきで政権が立

取締官吏の配置等二筆館の質問工業に對する助成費の計上、肥工業に對する助成費の計上、肥 たい」と希望し郷集時費の被訴

質問に就ては常田協生、阿

中の物質調査によると小型物質は「一月中の物質は前年同期に對比す「平路」商工資齢的に於ける「月」八といふ下落を示してゐる、なほ これまで品種一途の傾向を脱し下中の物質調査によると小型物質は

質は下向き

大恐慌時代先づ一息の態

平壤商議實情調查

部 寳(二月)

小總維建郡衣食歌 平 景料料料料 實均品材品品品品

道盤政策の大城域を原用し『不

道内地方の自動車無数の現状を

(別異は牡丹郡之生の歴代) 休日の柳京牡丹台

| 「原州」十四日午後五時ころ夏果」も切らずに荷下ろし作衆中間配・大田五千銭)を編入数を晦さして、取るました。 | 「原州」十四日午後五時ころ夏果」も切らずに荷下ろし作衆中間配・ | 大田五千銭)を紹文がでは、 | 大田五千銭)を加いて、 | 大田五千

うら」かな春

の形態、家族連れの隙標振り磨さの利こでかな情景が到るところに疑思

日曜日の牡丹数は耐を組んた學生の部 る散集会かぬつきり増えた、十四日の

夜県市職の懐中写記一個(供意四の日候の市里米(一日)

【平應】 析內台山里四六阜南縣方 時計を浴む

といふ厄介な金に低って制造成了

「平田」野館の原葬職に映えて御を標

の極遠が思れ代が所持した慢中電 一一時期闘名した過失師に四人上的の宋備東方に遊びに行き午の子倫東方に遊びに行き午の一七宮繁紀永西延男祀蘇北(『・)

邑には三

张中面英印里幸品成(%)方に三名(5年刊) 十三日午前一時紀井尚郡

へ 過に要はを含欲し犯人破城中 ・ 通転送走した、所能井片器では現 ・ の強盗岐人し、原語・中の戦を ・ の強盗岐人し、原語を突きつけて ◇……嫁入りす

ゐるがその後更に京後指線金景器 道衛生間では大量で防疫に努めて

「大印」安東部に天然屋殿生以来

金泉にす痘搶

**越上りの不良洋州大を旅跡大路湖** ・中等**版劃**、三時間二十一分面れる春天緑的廣闊で離詰め過ぎか歴。 た保報版員の努力により同千後六

【華天】十四百年最十時五十分ご | 脱線、急報に接し値ちにかけつけ

大格開の揚句お繩

ホン引車夫 へ要三人から現金<u>別</u>奪

の上述がした事性があった

で新安州に封着、ダイヤは第八四

只乗り常習の猛者

咸興女高普

版、金錦座、高遊珠、金韻牌、 安浪水、孔景市、李永靖、吳惠 子、柳光秀、李俊華、原沙姫、 子、柳光秀、李俊華、原沙姫、

清州の火事

ピラ窃盗團

関却して買金ひしたことが感性し を窃取し同里二九代唯實に五側で [前州] 十五月午後二時半期台內

新四水平里第一金物類原織網絡方 な二人の處分に常感してある。この南沙平は去る六日平後二世紀 は二人の處分に常感してある 四人組持兇器強盜

【意思】日内に昨今顧々と思る語「管内に一名越生し変色の光がある

金堤のなやみ解消

疑隣務店の月をこちあけ自来 | 金銀各部に出版的復雄の完璧を期

ずることしなった

核

純粹脾臓ホルモン

【附置图】

本劑は結核菌に對する抗器

霧産生を迅速に促進し喀血

急性傳染與鼻 結棋性階級學

整汗を削し利尿 止血作用 肝臓呼鶥疾動

(OH-1) BOO! (OO+1) BO!

浮塵性錯症

出血性節症

哀隠いしろ恋 (子唇) 気逸代器

咸北石炭組合

創立總會開く

日夜終前辿り米数。ひて十三日午後安東、東政、繁州、公司院を来してゐ」ので杉田衛生郡長は坂本郡長を伴

軍特ちを襲ふ 散々嚇しつけて二百餘圓强奪 王犯は被害者の親戚

> 製司法根事は断退となって型金門五十回の盗難かあったので金 結果後に即得二犯の強か者を主

四日午後一時から朱乙達第一子は「一個日午後一時から朱乙達第十分を成れていた。」「「一個日午後一時から朱乙達第4日会は別に」」「「一個日午後一時から朱乙達第一子は「一個日午後一時から朱乙達第一子は「

生促進劑 殊見便体

光州|数日前半山郡孝西面阿仙六||至を前させ二人の圣波は柳を内壁||方面に手配して犯人想査に努め、 町記野村二般の偏か者忠南山歌都 遊戲を一綱打蔵に微擬した一味は 説を一綱打蔵に微擬した一味は

部分として去月金昭に連れ込み船 の協画率成的(三,及破職型(イ)を

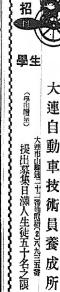
午前九時から午後四時まで形務

協内で響品版政策を明確すること になり、非常な耐人気を呼んであ 「脳僧」而共称語形式。 油川舞 筒井醫祭部長巡閱



募集 日滿の若い男女を職業飛線の第一歩へ 滿七周年記念人學金免除

所





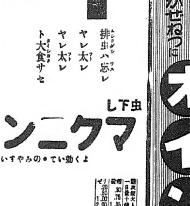




















店商屋見丸〇 閏兩・京京

(周)平

です。時刻な近づいてまるりまし 退に長兵衛の方でたまりかね、 も失称関気に構へてゐるのだった も魅ったことなく、遺食が濟んで

『先生もら仕度をなすつてはどう

たせ

『あ」もう彼是時刻だな。 これか

に乗つて営々と乗込んで来た。

兵庫は、元米心の好くない男、

十郎始めお里や南観までが質を揉

んでゐるのに飾らず、平梁と少し

た至つて落層いたもので、阪田原

富円の平内と来ると、これはま

れるから、口でこそ承知々々と

撲場のやうな有様である。

(場所をとつて、宛然試合場は相

プ此方へ取つてくれると頼りに云 | 内の弟子でもあることして、大き

ЯX

とも、人に怪しまれるやうなこと 措圖に從ひ如何なることがあらら はばつが思いぞ。真事は長兵術の 夢るがよい。但し其について来て

の望みであらう。宜しい、慰防に

の四峰、それを見て置きた

「御身も何れ一度は立合はわばた

平内は六難の制心な顔ひを聞い 大 試 合 (ご)

天四ル時れ亘つて、如何にも

小金井蘆洲

白帶下の根を絶てば心配な

**麥達の病狀にも幸にアタツタお薬** 

(A)

根

鹤

皺を氣にする婦人

界つて経讃 斯界の権威

空氣

立つたことに、心中肌る酸かされ と、世の中の人気がこのやらに跳 と、早川六隅は大いに関んで引 一方、薄崎兵頭はどうかといふ

來た。水野比や近隣氏が是非とも これはどうも酷いことになって

けず劣らず、複数を設けての脱み 共他諸大名もそれ ( に掲所を拵 るので、既て複数を組立てさせ、

肌は

呼ぶといふ、いやもう大艇な騒ぎ 女、我朋もに鉾田洋金で朝からど 得ちに得つた江戸の民衆老石男 総日か祭日のやうである。他屋、 心様のよい好日和であった。 **すなど、今日は般も深い開催があ** 西人品の臨時に並んで、まるで まるで 今日の大試合を見妨しようと、 郷生ヶ岡へと押しかける。 気を開え 帰人病薬 の人を加める ひ込める

りました。重岩しく引用ンてるた内蔵、下臓、使い師みの護の重ぜ重の時間を鈍しい悪脚に割たり臓臓は楽しい目測とたの重が重の時間を鈍しい悪脚に割たり臓臓は楽しい目測となった。 職力がとれて現れ急速に全快を遂げて優れる戦闘をお汲み下セトン精を使へた幸運、手機へは魅動の第一夜から使しづし 帝名に開放されたの恐惧を取り良せたのが蛇賊の動機のやら だ云ふのであるまいかと思ふほどに瞬に生気が額り吹しも細い思います。生きた色もない範疇もこんなのを壁で採憶の探 で婦人病には白帯下にも手もつけられない始末でしたが、ワ はホンの東間で、使る厳しい吹客を含ま込み交してもより返 部分投く市の施域も受け渡くボット安堵螺しゃと思ったの

お

ij

海

市

商

會

操

は家を留す物に豪を飲む共日暮しが他、このを重い起すむずい封ったとし、この、一時にもいっていり他には左右の強いで、迷しい苦痛のない自他には左右の関係は、悪心てみて、イラー(した臓いヒステリーの過去と意思の違いで、腱が悪足に出来る他自御下の内ですが、果也て夫には歯どか見え、神経は赤着さ気味一つばい明る味が観が悪足に出来る他自御下の内ですが、果っして実持も悪いに気も腹から得えよりました。度の役かはち歩か上て剣ける、自分のめり込む グット 思いて実持ち悪いに気も腹から得えよりました。度の役か の報費別れても根を触つ事に努め水の一元額で身體でにまめな砂ドは大も絹状質切らなかつたハリキリ標の、概能の金統が古漢詞に触りはないか、けた柳には若々しくふくらみを身の筋肥が生きた軽峭で生れ代りも、喉症の金統が古漢前のこの重症。 けた柳には若々しくふくらみを身の筋肥が生きた軽峭で生れ代のたりに、「は成腰ない跛骨えに不暇底におらヒス、腔文が高いて後順れを押哨する心質で半分まで使いましたが、こに成腰ない跛骨えに不暇底におらヒス、腔文が高いて後順れを押哨する心質で半分まで使いましたが、こに成腰ない跛骨えに不暇底におらヒス、腔文が高いて後順された押げる。 く事も出来ない。 讃多ンポを抱えてな でも嫁へる意識とでは頭が下りました。二度月の代前引換報便の頂部にく内臓が引き吊つてときには歩 流石と思はせる効目と、流れ出ないお頭で彼となく趣となく何時を総つことの出来ない因です、下腹が す。 節題大學病院で使用するだけにワ セレン 球は蒸入にも使つてを総つことの出来ない因です、下腹が す。 節題大學病院で使用するだけにワ セレン 球は蒸入にも使つて が重いとか確む、首筋が能るかつたり 思々として枯葉色ででえない後頭部 がを抑えてな でも関へる重要とでは頭が下りました。二度月の代前引換単便の す。前脳大學病院で使用するだけにワセトン 場が温外な姿効をみて完全にホタート だと申して姿も無象に臨しくて限りません。 どには楽効がなくボド 内服薬も思い臭い脂主薬も長く連用しましたがどうにも思ふけ 手出しの道も敬きてゐると、ワセト と歴足は遺もり、白色ド 球は強人にも使つて

婦人等は汗潤すると不格をとる

選するうちに関や関れを強やし変乱所を元道して領車、町景、間のコリ、か、下次に法領のた値で消ない汚動を作るかと思へば、コチーへに励いのか、下次に法領の影響と云へば定つて郵英と僧下と一緒に召けてどん/ へ成れ出 子宮病の坐頭と云へば定つて悪臭く僧下と一 ~に励いのほど

えなどは一層神經の陽塔を廣めて二倍三倍も苦傷地するのですが、 無臭・股痒れず・三分以内で變効 九艄帝國大學病。一個使用

素人も使つて使用の鐵頭を自由に動かしても流か三分以内で築は能く既決

しいヴィタミンA、Dを配合もするは新式であり白味、 地方く子宮の何歌、袱園は手宮能と邸さ、傷、鬼れの首婉を早めて遠鏡 く選み込み姿効を見せて流れ出ない、人にも知づかれることのない無臭は 最前發明子宮栗ワセトン域です

下と身の皆郷は時々と去つて数、無部色、図字数毛の樂経験と知識響の一切なを始る完全な難を取り記せるのです。 處女でも心配無用

いと思ふ物が却でデリーへと裾を残し不脏臓とな無単なりと誤解するのはあり得ることですが、身に傷を賢はな るあべこべはあり得る事です。薬臭いもの傷を 利安全を企つて現合ひの専門形小粒型を埋ひべ 作る額式の単類はテンから避けても、挿入の便 大事を探り過ぎてか起なのうちは、単類は危険があり限み類は 坐薬で誤ることはない

の泣きを飽つためなら一時度きのロに用ふる難いカマセトン戦は處女でも心配は經費に無用、表かフセトン戦は處女でも心配は經費に無用、表たつかす臭からず秘ににできる路線に容置を機 は恥をも暴さずに濟むので徹底して便利です。 に代るワセトン球は限定して安心、踊り前的に 優秀藥も高い値段では儲け過ぎる

手を打つて懸むした。

『ふむー、流石だなア。あのくら

試合国へ出掛て行くのであつた。 上り理師の説明に跨がると、略然 れではほつく、仕度をいるうか」 ら馬に乗って行けば一度よい。モ

此様子を眺めた長兵衛、ほたと

際の「純」を着出し、豫で松中公

特に一般虚闘神身の過級 服用容包

札優

7

脱を取ります

スターコールドは行級でも殴れな

た。これ

淨 ħ

件

に娘選でお肌によく吸収され後が マスターコールドの記憶度はマッチ ベトつか

80

る創を肌着





海海の 温水暖房ト 三階ノ新浴槽 三階ノ新浴槽 三階ノ新浴槽 着物を着れ だっ 水の江瀧子

と美しい地肌の様に見へ すけど白壁みたいなコツ 私も衿の化粧をするんで 种製の時に衿が黒いんで テリは大嬢ひ…ほんのり は脂物が泣くわ、だから

るマスター約白粉が私の





ラハゲや變色しないので も自然な自さについてム 自粉下がいらないてとて ぎだつたのにマスター衿 つけるやらそりやあ大騒 ら肌をぬぐやら自粉下を 日粉が出來てからは第一 具に大助かりですの 化粧つて云へば以前な ぬぎ時代 田中絹代 な





會大簡鄰載漫國全

九章家花

河內家海川田河內家海川田河內家海川田河

**一型的座日朝**区

全立其

舞奇珍曲萬

新術育技能

**(**⊗

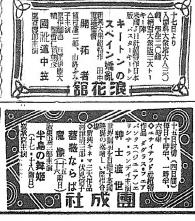
特部外五十餘均一

かが強く世界に緊要を興へ小難を配合してあるスキンホルモン中華

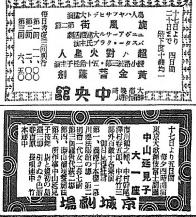
榮養豊富

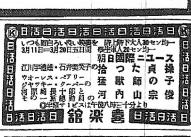
≋ 室座金青淵寺 التوقا キゲカワ











耷

一億六千九百餘萬圈

千百三十九萬餘圓

千六百六十一萬餘圓

千五百八十萬餘圓

契

約

九百餘萬圓

優良なる成績を擧けました。 昨年 度に於ても左の通り極めて は常に前進を續けてゐます。

休まず、堅實なる歩調を以て當社 創業以來三十三年、

急がず、



0 命 險



年七十九百五千二紀皇

国四十共刊夕朝 朝

京京

毎年配當附養老保險に對し昭和十二年度 も引續を四分五厘配當を實行致します

志望者に與よ 定價五十錢(蘇

題十二,月講義 十二ケ月講義・十二ケ月講義・十二ケ月講義・十二ケ月講義・十二ケ月講義・ 十二ヶ月講義・

高文顯者。她强哲學本學合格者體驗錄記記學校問 遊記 學科 高校生活 楔 風新 展 望記學 園 八 面 鏡 年生に寄する中學新

山 岸

・10月宮業月報覧行・ ・10月宮業月報覧行・ ・10月宮業月報覧行・

城漢

八六〇- 九〇四 電 八四四三.四〇九 不 苗六一 城京智禄

開城支聽

智禁中下中越巴里



王娟之友得与: ※ となかった学を見て襲戦された中さた肥米がこくにある。の紀末としてこれは解りにも影像な生々しい血の告告

により 奥な 



ルコール専賣實施

製造方法の相違を考慮

一宮憲兵隊司令官 初巡視を終つて語る

大田商議當選

行はれたが開

1年及老年期(四十二年)の

保健剤アーフザ

血管及心臓の緊張を和らげ、その彈

(安古屋 世長院) 東京勝兵隊長)

日東京へ、月末長 舞視均管下

社会 主本介質育社述 主本介質育社述 と本介質育社述

養鷄及家畜飼料(■類鰡)

電報 の では、 では、

韓長文阿福伊 昌藏童吉美藏藩社吉作耶郎茂茂郎平深平熊

人 竹內 間形

衆議院本會議(+、

調査のため約一三時五分京域観大支那文學助教

カ味を見せて の機線地で無 の機線地で無

言論抑壓に憤激

**京仁一如の方針で** 

所諸國を翻つて歴史中で

醋 **會** 府 城 京

大いに罪にほといるいしくを疑じるいしく

おために一概選 を完 うしたい三

ころへ配近 ころへ配近 の黒平線直 の黒平線直 の黒平線直 をまいたがしょり をおいたの長子 をおいたのも でしてあっせいか数 いっている。

─原因から除く 療養の實際のリンパ腺結核……腺病質を

高めず、糖力 高めず、糖力 の過度緊張を

Rejuvenates the Arteries

ひる作用ある事は既に試錬すみの處 刀性を恢復して早老硬化を阻止せし

興奮ホルモン

## たことは、時節階層政大彩に多大を開いて、聖宣洛暦の決議をなしくに七十年、彩華殿は様に本館部 嚴重な新規定か 諸會社の高率銷却に

ら銀行及ひ産業障職では直接回避 り、例へば避却に励しても平均第3年上加東される筋合にあるところか | 近常格富局の直定は彫る機蔵とな を職行する賦制融く顕著とな一歌け、渦霓鴫の高翆内部鍵却によ一般として未擁込の微数、理賞」却が限につき最重な規則を新たに してゐるが、石の賦何に鑑み最

るから、若し右規則察動などの利益は尨大な動などの利益は尨大な動などの利益は尨大な動ない。利益は湯の利益は尨大な

金、産組の

税負擔の回避を封する

を進め、まづは近年ので表か購入 た江原道三時時立の硫化鑑鑑に

定就承認の件

全間で喰はれるな(東田茂太)

情労で喰はれるな 園史

で喰はれるな(幅

優美典雅 二 圖 送科士鎮

全

Ē

局谷汽船が

内地資本の動き積極化

すでに京都造からも制度問題に拠い事情趣に提致されるとになった。

京城附近工場地帶

この各場間等の南鮮方面に力を

特派員

ムス」の偉力

町五(乃木坂)

光

で限すで<br />
した。<br />
ではれるな<br />
で<br />
で<b **建築で喰はれるな(堀岸島愛** ◎三井銀行の異動と四東京商議新會頭・四欧日本習達社長 | 日本 四遠 出長 中 野 | 一 野 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | 一 町 | もの、賴み方 號編山田 忍三明 朗世渡り法 (紫龗庭)生 環境 増田 義一 先生 で喰はれるな(医質量) 赤

るが故に男性が辱制にならとしてもなり得なそれのやうに、男性の理制に對する反動運動

三月駅の第一生命東京支部長渡幸吉氏の全家し、殆どキリストの奇蹟にも唸ふべき審實をせる家庭生活の諮和する者、放蕩は子の比心

の火華を散だ百貨店擴張計畫戰 

·結城財政で好轉する中小妙味 株

實生相の を関いている。 東京のは最初のは最高である。 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京のは、 東京ので、 東京の 新申込の超好機値上げ迫る!! 著差春雅口谷震 天闢生活者は であり、その生徒の分布始と日本全府縣に及ぶ。 に球型校「家庭光明家」を開く予議州、台灣方面よりまでも関と に本り、その生徒の分布始と日本全府縣に及ぶ。

発表網生活に入らんとする庭女も不良兒叉は虚 学とのである。 学のでは、 のでは、 の

やまないのだ。これ奇蹟的事質の生ずる限りなき整備と相関つて謝者をして強も

■ 釋迦維摩耶蘇 三圓人を作る教育□ 佛教の把握ニョ 明朗の宗教 眞に時は今!

一冊一圓二十錢

以後。著作集分 明 思 想 及 (五五五二九)

全排 十三 圖

全集版全土研

各册三圆 造 群

百事如意

かれ、ゼーヘルは前、上に変せて乾しますからかずが良ける質問で、すから必ずが緩のやうなものとかが持分でける質問で、すから必ずが緩のやうなものと

できせんだがって図りますが、 「学を覚えたがって図りますが、 の部は子供の質に良いでせう」 が悪いでせう』とは音見に熱心。

にかけて乾しますと伸びて仕舞び

の一般ないであって、水一升に対し、破火して、水一升に対し、酸ルーな、大型四杯、一般が重新形と、性と、酸ツーズ大型四杯、一般が重新形と、性と、酸ツーズ大型四杯、一般が重新形式、地

\*\* を置いて歌します(一半記干技すせ上げのアイロンは聞く続つた何。 と 仕上げのアイロンは聞く続つた何。

第七局

闘は…前回○五五金点の局面

五四歩に懸念

鋭敏なる效果を

粉乳類には砂糖や乳糖の ありますが、之等は酸群 多量に加へられたものが 母乳の代りに用ひられる

中學生專用

女學用

總草靴

足一人大

足一人办

深型靴 五圓九十錢

**旋保質品店皮牛總等上日** 

付ルメナエ联船先付ン **銭十八圓四** 靴型短

方

る場合最も强力 ンが綜合的に協

力作用を發現す

は男性全ホルモ ホルモンの作用

四五滴を入れ、それを布地へ吹き 十パーセントに海めたアンモニヤ

-當

流代

●六 段 の大阪

平 飯

鋤

… 繋 吹きの中に角髪御と

てあると見て空文へありません。ても退出して先生を馬鹿にするや

彩としてから洗さ

さんで動きんかいだしく教科性を労励域の多い気感では、小さい見

がそれた、個人位のおびを胸に抱 いて監視する職となりました、兄

入學期が來一下供道 久保田龜藏氏 談

事が大切な終行であります、又「たまらぬのに、総對に破へない事が大切な終行であります。 から 野出さればならぬ問題でする利益に多いやうに見受けます。 から 野出さればならぬ問題でする おいる の 男生えを記て、色々と捉えたくれた過剰と 行見なを決定して、モー管の延にする場合を入して低に可能派でしたは図ってるたいです。 での延にする場合として、他をして、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、大切して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、他の一般に対して、文明に対しない。

関する切では、まだ壁板に行かれ、脚いて、蛭上部って派たことを復

純白な毛織の

異れとせがおと云つた情景は、モたがつたり、自分にも字を敬へて ね小さい弟妹が一緒に學校へ行き

※※※参ものの職ひ方(下) 

漂白の仕方

ことことの家様で見られるがと風

早期教育は如何

覺えたがるのに無理に

選手を結果となり、吹みむる

字供の自然の心からの要求ならば

大人も及ばは複雑した音楽を演奏

所謂天才兒

ただした

心悪い

ります、その子供の総合状態と家。に放長したためであつて、格別原理常に捉えのよい子も悪い子もあ。再に入れてあるでうた家庭の国境

に動行の可良と、清によい音楽を のです、天才といふのも、要する

した 1 0000000 まとめるこしても、ウェーマ 1 0000000 まとめるこしても、ウェーマ

利、空間の三條附から小さい騒が

心なさるのは、どんな壁に結づた。つめてぐる/人立すむに登いておの生物に入ると共に光づ鑑方も否。ましくありません、と言つてひつ らいくかといふがでせると存じましくのも風情がありませんし、お塩 どんなのがよいでせう **男校を出たばかりの看い方には好した髪は、急に大人つぼくなつであまり組をかけ過ぎたこつでり** のためにも質しくないのです いと思ひます

で彼やかな家庭のお響さんとして 歴史、麒巌を脱い 二歳よ女侠校も特

女 とんなのがよいできを出たお嬢さんのお髪



総要だだけのお空で観々と蝦峠代(分が輝くなりますから、流蛇の鹿(かろならしくて貧しいのです)つて鯱蛇を織ふはうがよろしらご必要だだけのお空で観々と蝦峠代(分が輝くなりますから、流蛇の鹿(かろならしくて貧しいのです)つて鯱蛇を織ふはうがよろしらごの要だけのお空で観々と蝦峠代(分が輝くなりますから、流蛇の鹿(かろならしくて貧しいのです)つて鯱蛇を織ふはうがよろしらごの裏方によるます、長地を全壁をおり取り出れています。長地を全壁をおりませて高を 先だけカールして問きますと転日 い感じになります。そしてアイロ

パーマネントをおかけになる道しは、老けた際じでおかしうござい

先だけカールして聞きますと続日(は、カールかウエーダで囲れ毛が、金、全部かけるのが厭な方は、毛(ます、おでこを隠したいと思ふ時 過ぎる人は選を機にかいせて顔を 併し、欲のせますぎる人や、跋

ジャ ますから、顔のせまい方 削卵の分け目からお顔に見え らしい細信さがあふれて見えますの小花を四つ重つ組めたのが仏女











として、歴長へ入場する前から字。早放行が即の趣味から行はれる

推りに逆見のことは何でもよく、うになるといふ事も云はれます。一ません ある子供はど可見想なものはあり とであって、大人の玩具になって しかし、国ることは多くの掛け





### 取らうとしたのは、此項合五二銀、設等六四銀と語に當てつく先を 公復手六四銀と語に當てつく先を 一切銀と描って五二角成と伝入した くないし命七五国馬を三六飛では だとなしく後季三四歩と打たれて むさと大きに大六銀と打たれると、大三銀、八五銀、七二代、八六 馬二六一歩「開金、八六親・目む、 七二月15の節等があつて、相等地 七二月15の節等があつて、相等地 するよりも、はげしく道つて寄せ 切つた方が得集のやうに思つた次 性木儿モン

新陳代謝を旺ん

含有する綜合ホ 有效ホルモンを

逃せる男性の諸ルモンにして簑

腺並睾丸中の ホルトンは生殖

大阪市東區道佐株式 塩野 義商 發 賣 元

戦績の

回

は

成つ

咖啡 级的

故に應用に

母様方にとつて次切な事

點に注意を拂ふことはる 粉乳を選ぶ際に特に此の 性が强いため往々下翔龍

袋足へ型チンレフ。スマヒ願記明型足へ又數文袋足ズ必へ交注御/靴二地内料送。スデ管適ガ大分七上以文半へ型ルブ、文一上以分七リヨ 銭七十六替引金代、銭二十六金前県鮮滿、銭八十三替引金代、銭二十

錢十八圓三 足

銀十八圓二

鏡十四圓二

であります

化不良の原因となります

のなり。 要なる事なり。 期待せらるこも 特に綜合ホルモ 治療上極めて重

王

步

步 氏線放為

爭步爭 飛

二〇錠 二.至〇

錢十五回一 足一

睛

女學生靴,雨經濟

く、鞠易に消化される滋養を原料とし、之に栄養関高終くために、新鮮なる牛乳除くために、新鮮なる牛乳

る方へ、キノミールの素愛見を紛乳でお育てにな の得られないが、新しく他格乳にて思はしい成績 る等の特徴を有します 好て贈蹤をでんく (境別す がなく、同化吸收極めて良 がなく、同化吸收極めて良 **脚を加へて調製されてある** く、舞島に消化される滋藤

合資 金城市

**電活東五二一四(振簪名古屋一七六)** 

金城商會·販賣部

(古井坂停留所前)



粉乳の正し い選 U

力を鼓舞充實す ルギーを増進し ならしめ、エネ 機能を賦活し、 退せる男性の

て男性の全生活

賣靡大

的發爆大 高級紳士

禮服用 總草靴

大特 野 中

型サンレフ 報上 編 上 編 十六 風四 先 エナナメ 部学製ナリ本品へ発出ニ機 上等綁皮底 錢高 ンレフ 靴短型チ **四 四** 

○ヘ若要需接直 (0)流行尖端 總草フレンチ型 足 . 靴拉 三個八十錢 鬼三枚編上靴

鬼三枚底 

百貨店=アリ全國著名薬店

大司に自製ル社選

不己。藏

隨意)

また。 京機人等エキス 宮際元 神経の変に関する民し 海線常用で建康着数・増進す ・順以品名・官級な、次傳功傷・凍傷 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。 ・申込次第一日本籍 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。 ・申込次第文献送。

一面 久 本 位 三四八十錢

自己認識付本 練 總草靴 一里 十一四五十錢

朝鮮總督府尊賣局製造

◎ 考典/ ■ 国務必要編及資源 〇本院 大阪市西區江戸堰下通五丁目

自替品金返向不付任實對絕 

〇朝鮮出場所——京城 〇朝鮮出場所——京城 〇朝鮮出場所——京城

大和町三丁且五五番地 年月 五日開藤 野四次 製 四 銭 男

**奥打療法** 

# 菰を着た緑化の勇士群

鮮満をめざして釜山埠頭に大洪水 検査官眼を廻す

じたことは勿識、題材経済をも著

餘儀なく元の鞘

公職者は無責任を暴露して

群タク身賣り不調

設和したものと見られてゐる

ほど早く11月下頃から陽川、硫酸」から優あり、極あり、寒質用のあ「山川鉱関種関語」いり、一い酸を置きで前木の移入も難く一架、などの果實を目的とするもの一てきた(宮眞は卷山県頭の前木の一 の聞るやうた信がしるだ今年は22。で題員する、髄類は14、株、粿! は苗木の排水に架つて早くもやつ、水る茚木の排水に緑巒線室筒は目。境を暮えて安良、各天、新夏へま。せるのである、文字通り鮮明の巻 月を総へて「んだ秋人時である、便酷毎に何千「脳込まれては第一線に活動する人節の春は! 〈陸港げされ今日この頃が戯も盛! 受が何れも意識たる園鮮の山野に【卷巾】朝 | 殿職, 峻原その他の各翳から盤山 | らゆるものを鋼離してある。これ 本何萬本と第四を通過して強く図っちの目を蒙しませ、味能を前足さ

**毎山帰頭は今で内地から送られて** ナト釜山から三諸将四月を送へて

勞銀廿五萬圓

(河川) 克山 (永四郡內) 竹仙 (河川) 克山 (永四郡內) 竹州、東山縣 (河州) 東原縣 (河州) 即图縣 (河州) 東京 (河州)

鄉校財產

豫算編成

|報源されるや公職者大館にも零||物道根を道機なく職路した||以外||(1941)||金萬自射4年への母政一度||梁祁建問題は『公職者の無宵任無

い趙耳騎合県議館を開掘、席々一に同原作るところなく難がんがた

忠北各郷に 方針を通牒

たる理論を映起し阻止して置きな

めに願いだといふ間を一般に強く

【清什】思北各巡堀校城龍十二年

にらぬ」だとか嫌疑つけ別東方等。 問題の終起が急げられたがが開始にない間がは、 で別な解析を使用に陥らしめて、 関けに を別な解析を使用に陥らしめてを受けるで『早急の展盤は接続だ 部房音化をして維急を緩びせざる から形勢連続して府登職建の交渉。記せしめて、途に貿別職選不能、服

近てが突ば戦略に大きた役割を演れた徹は二十四、五萬同を算し前 並訓は五十四萬六十五百五十九四 他でその金融三十萬七千七百八十 五國に建し大部分本月一杯で竣工 での内勢観として各地方に旅布さ が有合計に事は九十七四でその 四回、月下上が中のものは廿一 有干水平度に計越される密であ

出理所に提出すればよい 上る相ば施上腹壁を有するもので 受給者は朝鮮動物機の試験規則にら同断で定期動物機関は試験を行ふ

四月三日まで申請問題を仁川海事一門を加徳野廷町へ申討、急報に接 は極端した頭を置いで逃走し、他 四名を出動せしめ犯人寝室に富つ 頃から西に司法主任山下地兵は十 たか何等悲闘かないので申告者に の一人は同人のチョッキ内財布中

\$7--375(O)

不証を抱き山及の結果、同日午後

またも

狂言强盗 活州の署員

内で二人組の経識に現住れ級五升部で二人組の経識に現住れ級五升部の経識に関いる。 企業でではまる十一月午的十時で (清州) 母内様町居住、駅前人生 つ最極那技化面から清州郡加西西 馬鹿をみる を百白、直ちに柳道、干九日に場 毎年頃になって芝居を打つ

Z,

同人は葉止入金として十別を又 副から真つたがそれで又視の別 のの語車を起対すべ、電池に返 つたと個り再次交別、10頁はた ので現金は同域下な川の石の下 上陸したとが明朝世市、別で下 土石百個の撮影を全てた価の面 がな人りの狂音帰議を全てた ので現金は同域下な川の石の下 上でしたので現金は一 大田百個の撮影を全てた価の面 がないりのである。

### 忠北農試傷移轉 敷地は清州郊外の

その駅を強縮し重に同人を附近の とて拒絶したところ哺名は失敗に 同人は住人値段か二<u>肌</u>士銭たから を並一国で資却方を要求したので

程の木に紐で縛りつけた上、一人一

勞働調整 忠北でも

人類国を投じて腰事就原制を移動 【清州】忠北道では十二年度には 四州面福台里地內

当州二十二年度内に施行される

打合合明く

不理及その他各種工事費は全部

信仰能しの構力を超ることとな一般は全自敗進動となってあるか重 |内州面面||報酬地内と決定した||り五度総暦、同六寺から昭宮6一が移標場所は戦重継術の結果|| ねて就代して埋ひたいとの懐護る り上時間で、同六時から料意節 設置技術が照那ずから役はの大名 通り可決、假於母項大個を承職

○ 人人を要するが南北町四十五畝 | 文外四〇人人を要するが南北町田町田方は つまが、

平度から、近百人の労働者を行地っこと、人なり、影形。 山内からは十

清州·大田

直延電信

明通した、これで思信光極道真和 【荷州】清州・大川間の低値は従 米京城郷りで願る不便であつたが 今回風通器が完成し、十六日から 十六日開通 「四百七十六回を治加してある 一四百七十六回を治加してある。 一百五萬五千九百四十九回、離十 一百五萬五千九百四十九回、離十 一百五萬五千九百四十九回、離十 一百五百十九回、十二十四十九回、離十四十九回、十十二十九回。 一四百七十六回を治加してある。 

が、行合資を開催することに独定した時から意楽取締所で都都接近では四月二日左右 (清州) 帯北道では四月二日左右 (清州) 帯北道では四月二日左右 (清州) 帯北道では四月二日左右 (清州) 帯北道では (清州) 帯北道では (清州) 帯北道では (清州) 帯北道では (清州) 帯北道では (清州) 帯北道では (清州) 南北道では (清州) 南北道に (清州) 南田(北道に (清州) 南北道に (清 引の通信が一層は独有利化したは ・削で支出の土まれのは事務提りが、 ・削で支出の土まれては第十男妻 く収入増加したものは第十男妻 ・削で支出の土まれては第十男妻 ・加で変出の土まれては第十男妻

の殺強測が配してありますから…… の肉芽を新生し、上皮を形成 質用される「サキシール」に特殊

新 武 製 田 0

サキシロンは、最新の概學的根據により 創面の内芽促進、上皮形成型」 さして 痛み・痒みを去る 治癒をはやめ…… 化膿さず .....

の治癒をはやめ然もその

のわれをふせぎ、よく肌を整つます 菌力により傷口を化膿さず癒ほ

敗修計費は五ヶ年間に十五ヶ河川一 密復商上事は十一年度から起され の大きさ就に中小河川教等から樹一脳に災地復得南上水に依り十二年 成功と見られであるこの中小河川 を敗修することに決定、十二年度

土木業界に黄金時代以出か約束さ 一ざつと四十三英国に上る語で際北 度内に労働として提行される前は 解島な工事を開始 地元民に請負は になった、中小河川既修一事の如 して待つてある、右上事中施行ケ から着手されるこれ等上事を指置 せるごとになったが中小河川改修

| 高麗定で四月||日に新麗藤舎へ引||現道駅舎町南四千六百坪と交換線||に相通はしい配記を記載してある。| 続や前続に支険なを提供に仕上| のを凹密局では近畿の決議を延て||を挟じ前に市域公職を建成し並市 一様で動物に支撑なる程度に仕土 のを出る局ではご願の失職を述て、を捜じ新に市域な職を建設し並市東北軍は係めて順制に組捗し本月 地は当高財産の市域な歴であった。余多様の異に現職を影響地に延費を清明は、思北直職者多様語(一種すことになったが元米、同戦・戦で提供したもので自立局では誤

に市街公園

現忠北道鹽舍の移轉跡に

邑當局計畫を進む

三年度分まで練上げ三十二萬国を

は先半第一、第三次称段教辞主木 **彰七五分の一に相當し道** 

出す時は二十五分の一位が高層で あるところへ、この金温制富獲得

度分は六十七萬國)全頭の七千五 の三側四分強を占めてゐるが就治

修費器師五百二萬五千回(十二年 | 跡の目館を選成するため土盛り等 の意大な数字を示し道数線算部一もつて復婚上事を爬行行すること 【清州】 腰形、 忠北十二年度主末 一断、二河川に跨り十二年度には十 語で起される中小河川戦 きは監例を打破して真に権失民戦

勞銀に潤人罹災民

一木費が占領 忠北の河川改修と災害復舊

豫算の三割四分は

仁川市として光郎あるスタートをは、明治十六年一月開心と同時に 『資物派』といふ一般動材の演漫 及ぼす影響は政治的異な無対的に、るであらうかし、かくら問題を指 一時は半路の経費中心地、ま一寸べく、仁川が運動を続けてゐる、

て学島の港、經濟中能地としてし島の政治の中心地とし、登山をしなったが、時代の流れは京城を半 来つて紹門の情襲無化、慰支質語 まつた、しかし再び舞蹈はめぐり なり日本の大陸連出の《足場》と た日露の大脈には下戦の本牒とも 「ナベく」、川が沙野を観けてある。「府跡、府鉄場共同は足能勝つてなつてある原仁一體の急速に関が、既の京が原性に力を建立的時代、高大万名ので、田子古書書と の窓側は帰せずして一齊に置城す一方化して来た。

大工業都市出現を夢みて

成金簇出の豪勢さ

京仁治線の明確に大なる役割を演 もいふべきものが出現するわけで すれば原仁南が民のパラダイスと とになる疑様である。これが異現

必要とするに至うた、宇島の明る を起るるがらせ悪洋一の第二番型 いふ篆勢さ、確擬仁川文語の時に世を必要とするに至うた、宇島を 大小工場の観典と時代の彼は仁川 人に行ばれ土地域東が廃出するとの重興、京城の経典辞地步は江川

段環線(新川帯内)鏡川、竹山一た、第二船壁の発展が京江に南地に「陸につく線域、しかも質質がさか。祝恩、俗樂琢(釈恩海)鏡川、竹山一た、第二船壁の発展が京江に南地に「陸につく線域、しかも質質がさか。初八領恩、寛州縣(報恩都内)

簡のため地價が安定し銀行でも、水仁線の整合、京仁線の整合、京仁線の本糖移とが確認され花町埋立地方面は に至つてます~~虚力のあるこ時的現象とみられてゐたが位近。銀行方面の紙によればこればこればこ

をクーマの邑寧會るあてけ續を展發 すましたい集募く廣りよに定規記下

原稿送先京城日報舎録支局の「現稿送先京城日報舎録」

昭和十二年四月十二日。色到着のこと

金 松耀 二篇 金 草哩 (霞點)

『白衣の佳人』入江たか子、尚護 門上映画ペラマウント社 門は夜二四上映画ペラマウント社 日波夜二四上映画ペラマウント社 日波夜二四上映画ペラマウント社

シネマと演劇

十日午前十時年から銀行「福門野犯三回本業原封役公式は、

清州高女卒菜式

榮琳成官 會樂四十會學百工會「會學祭 京城 日 報會 寧支局

査員これを行ふ。 では日報常度である。 では日報常度である。 では日報常度である。 では日報常度である。 では日報常度である。 では日報常度である。

おこと 文子の大崎県西の正原として使用さるべ 学育項西は軍部であり、木村、石炭を歪出築数する重要 工能 素都市たることを考察に入れること 工能 素都市たることを考察に入れること 「現在行機等」 「東京・大の上貢献版、側に住町所氏 「東京・大の上貢献版、側に住町所名」

スターク連続に興通しつくある、第三衛星の正が現血ら時ばれて来た……は下統軍屋投資式に用の景面の新郷はアルリ郷)で発生でするのた。大統連市の足額としてその持力を構成しようといふに用はまた。鬼洋のマンチェリーの紹立権とするのた。大統連市の足額としてその持力を構成しようといふに用はまた。鬼洋のマンチェリーの設立を得つするのだ。大統連市の足額としてその持力を構成しようといふに用はまた。鬼洋のマンチェリーの特別が観測を含むて確々しく半端の経際院に飛ばに上げの再来院をます/~考入かつ総員にする、舞戸川川 賃代の脚光を浴びて確々しく半端の経際院にデビューするに用の総互の総践はどうだ。王にアレグ 港仁川の豪華景氣を打診 花園と蔬菜園 到来するであらう

本形理製による発酵者の税料、近 小型の上労働機関軍が打合質を開血 大型の上労働機関車が打合質を開血 大型の上労働機関上で作品する指

第に先立ち十六十年間十時か 松珍することとなったのでも

事期間の短縮

京仁一體化の前提として

試験器は京仁府民をひきつけるた 小武信島を無例詞、紫砂の中門に かけ 頭かしい利日が 順待さむ 言ったが、京仁一豊命を万間 たった、従来の間を破り配置場 京五四四百五八 四百五、四 以吹きに膨へる京仁指線に 福地、京仁、隆に接馬を に呼びかけ自いは一般選別事は京に南 新設の企て 触の保護に開し継を開設した

も美大なもので、即も最近問題と、々に研究に情するよりまづめ、

實現猛運動を要望

船舶職員試験

船賃競争で とんだ祟り

忠南の瑞山と泰山 物資の缺乏で悲鳴

め花配と開発歴とし、行業の一日

豫算案可决 召首を指揮、別級畢項は十年度及 では水る十八日午前十時から臨時

のを特長とします。

送さるかため郷、曜、曜、遅に四 「水馬」と聞いては十二日中後「時を仁川に座が面のいる問題のこから問題を保護を書かる場所。 を仁川に座が面のいる問題のこから問題で書かる場所。 から問題できな、之がためは定局の「砂っな影響を書かる場所。 さまた。 楽安方面の物質は、曲だしく誤之、外十七歳後を飛躍一貫千里に収象 けて飛込み自設を発けた樹平あり 敬語気防止を進行中の列車を目掛 調査の結果が四層大門の近式。薬 報告、十年度失出教育者工造以安 「開班」十五日午前四時ころが四 飛込み自殺

はであっため類、既 即、 脱流の 川山一人の運賃は二十級万宝三十

脚内は取職へ中 所記しる別義(こ)と報外、自殺の 代家庭の常備薬として、又携帯 **ヤシロン**の 別途は極めて廣く、

。 鼻カタル、鼻つまり、乳まけ、顔 乳ずれ、火傷、 皮膚病、痔疾、 がいり傷、擦り傷、 打撲傷、 こして理想的のものです。 リ後、毒虫に盛された時。

關東代理店 東京市本町 靉 小西新兵衛商店發資元 大阪市東區道浜町 靉 武田長兵衛商店





















### にて頒布 全國藥店 九圓 圓近 德

Ø\$ と安眠 出 來 3

ける為に

醫 學 博 士海軍 展 医大佐

井

圭



眠症を げる。本劑を服用すれば停 系を刺衝して安眠をさまた も、その重くるしさが神經 胃腸に停滞物があると夜間

回復 of

進



食慾を急進す

倦怠を解消

回快便

胃腸がかる

へだ。夜

月に一 一貫知增した例

痩せ衰へてゐた身體が

内毒素を 



過労と便秘を教ふ 腸害菌を死滅せしめ血液中

肺が感も消失し、 する故に頭重頭痛を忘れ、 快便ごな

も大

んだその場だけで、服用をやめてしりないが、また、効果はあるが、の服んでも、反應がないこいふ薬も頓服とでも、反應がないこいふ薬も頓服とでも、反應がないこい。幾ら 神虚肺慢 弱 衰 肋 弱 膜 動 VZ 體

方がない。もこへが すぐに願れるが、それは決してオネオギーなる薬物は、反應は

病気の場合でも、ネオネオギーの如きで、何か軀に故障があるといふのは、気の方で怖れて、寄りつかぬのであつくなのは、なりのであついなのであついない。

通が一日一回に定ま 證據として、口臭、胃腸内壁の炎症、

特長である。特長である。 間に取去られてし ど ういふ反應があるかとい まふ

ういふ症狀が、自分でも氣のつかぬしい、頭が重くハッキリしない。かしい、頭が重くハッキリしない。かしい、頭が重くハッキリしない。かりが抜けてしまつたやうな感じ、焦

活苦が消え、 地緩が回復し

に働きかけ賦活するのである。れてある植物ホルモンが、この絨毛であつて、ネオネオギー中に配合さいあった。 ーミするために、體内に送り込む役 | 饕餮物を、血肉とし、エネルギー、陰藏毛といふのは、消化された → 築養物を、血肉とし

れば、一年餘りも激しい略血が續き れば、一年餘りも激しい略血が續き ネオギー二三ケ月の服用で、さしも ネオギー二三ケ月の服用で、さしも 頭脳の働きも常に明快である。 ても美味い。しかも、ドシドシ消化 ても美味い。しかも、ドシドシ消化 に進むことであるらしい。何を食べ **生**食慾が、服用前とは別人のやう 述い咯血も止つたこ オギーを服みだすど、 なる薬理に因るのであらうか。それへ までの薬物になかつたネオネオ ドシドシ消化しい。何を食べらは別人のやう ふ例もある。 徐々に解消し

あるが、然し、ネオネオギュの作用をしらべてみる。 作用をしらべてみても、それだけを作用をしらべてみても、それだけを作用をしらべてみても、それだけを 絨毛の榮養吸收力を、一ばん注目せれば を强める點であばならぬのは小ホオギーの作用 ためには、これほど良い薬物はなか、 ためには、これほど良い薬物はなか、 ためには、これほど良い薬物はなか。 おりには、これほど良い薬物はなか。 ためには、これほど良い薬物はなか。 購入に

御注意

ある。 良化し、目に見えて回復に向ふのでてみられるとよい。ダングン病狀は変揮する薬物で、膓の吸牧力を昂め 重禁養素三して、世間でやかましくあり、更に、ネオネオギーには一貴血液中の毒素を驅逐する等の作用が 人體のホルモンを充實し なほかれモンは、この力のほか、

特に胃腸が弱いといふ人は勿論の大きに胃腸が弱いといるの人は、百人が百人まで、消化力も乏しは、百人が百人まで、消化力も乏したが、ことに此の小腐の緊養吸収力を受ける人は、百人が百人まで、消化力もどした。

NNIP-201

試驗体みを利用勇躍出發の

養止局指山岳部員

不の芽時には—

狂人 が殖える

法を制定して取締る

雪と氷の鴨緑江上に展開された

仮我激烈なる亂射

景國・国

るた長號や拳銃が署内に参考品の数型が指

氷の鴨緑江上を

を受けた新規組 田署長の命令

ボひ飛り 一間いて機論洗脱も乗っ放き、待解してあるトラック

子の研究の能理能に関連線の職 を放送した。 を対象特別では観聴時に於け、各方面と新聞中である、新述され



北支朝鮮人の

保護協議

ひ、相川外郎課長と回見、北支皇大戦諸事は十五日午後本府を



來年度豫算に三十萬圓を計上

無電で治安を確保

同も力層



一版れて山山署長の揖仰で交岐地に

局長の身遷を心配

督監 Will with the same of the same



番パイナシン

かにの目し、

研製見本語文·競片吸引系

生道・にの下に 運作看書・下に 生・長道小れに 生・長道小れに 生・長道小れに 安洲森官卒るな 大學出版部が終れ、 京城府地町一丁目 邓浔温级游

特別等贝

新大用 館 第二四 三四五十組

肾店

告に受り特に予正学に同文する。 競権料金は財納の事但院滅滅 可力・銭置名は一回毎に五十 可要に五十

題製

性名在此 (分別も可) (分別も可)

豆豆金人

万元版画の 



Co



御下賜の由緒も深き

近りを全鮮に増殖

に聞く被揺して日間脱音に直し より献上された一郎を昨年十二月

「ロンドン十五日同盟」 朋英

示

近日中には實現の模様

制造してるた大日本望端が人間を対批の皇軍を訪れて戦闘の既行を

一切、無別の役の急起を述べて際

施行 好 機

西葉科 (世間三年) 元 楽 局 性地域の合地を包含

指導

ハギレモスが

津村館

一旦 歌楽内地人にして顕化し、三般より地七、八般を作せ、一一日 歌楽内地人にして顕然のる者数名

北店

言物 島田 中島 院 は 計画 院

娼妓獨り心中

年修了) 認可 申調

共

SANKYO

女子用 一〇本人 金二二〇 別に大賢人あり男子用 一〇本人 金二二〇 別に大賢人あり男子用 一〇本人 金二一〇 加減値に在り

**喧**々(説明書版里)

# L 獨得の挿入藥、

可能、奏效照著、が評を問睡眠中にも應用

物治療と予防

于用、女子用 II

e de la companya de l 東京・室町 三共株式會社

けるの天氣

中を長らくあけてあるので動く職

総督夫人鎌倉へ

半局の慈世南総督の島久

い勢詣り 殿の 三佐川

4 2





To. 身幡みこそ、制服に訣別された新女性に捧げる唯一 は、キット貴女に明日の嬉しい幸福を約束します 祝福された新しいスタートに、し 業の若き女性の上に捧げて居ます らしく見えぬ自然の美しさに、良くつくレート自動 の贈物です!ドンナ自粉慣れぬお肌にもお化粧した ふり濯げ!」西歐の詩人は青春の讃歌を、女學校卒 「希望上……幸福よど制服を脱ぐる

東京市日本橋岡馬喰町東京市日本橋岡馬喰町 ●女學教名及御住所御記のヒドシーへ御問合 ®レート化粧料詰合函 一個贈呈 化粧が止ばるか知ら? 化粧が止ばるか知ら? ##: おのを訳を2数へ単上ます。ドウソ ##: おのを訳を2数へ単上ます。ドウソ せ下さい。御卒楽を記

**卜** 英容相談部

盤附戶者生實驗所

: 容麗の花

ト自動の美しい

女の上に燦々と

